資料１

2nm以下の世界最先端半導体の量産を北海道で実現

□設　　立　　：Ｒ４年8月

□所 在 地　　：東京都千代田区麹町４丁目

□取締役会長　　：東哲郎（元東京エレクトロン(株)会長）

□代表取締役社長：小池淳義（元ウェスタンデジタルコーポレーションシニアバイスプレジデント）

□資 本 金　　：７３億４，６００万円

□出資会社　　：キオクシア(株)、ソニーグループ(株)、ソフトバンク(株)、 (株)デンソー、トヨタ自動車(株)、
日本電気(株)、日本電信電話(株)、(株)三菱ＵＦＪ銀行【８社】

□事　　業　　：半導体素子、集積回路等の研究、開発、設計、製造等

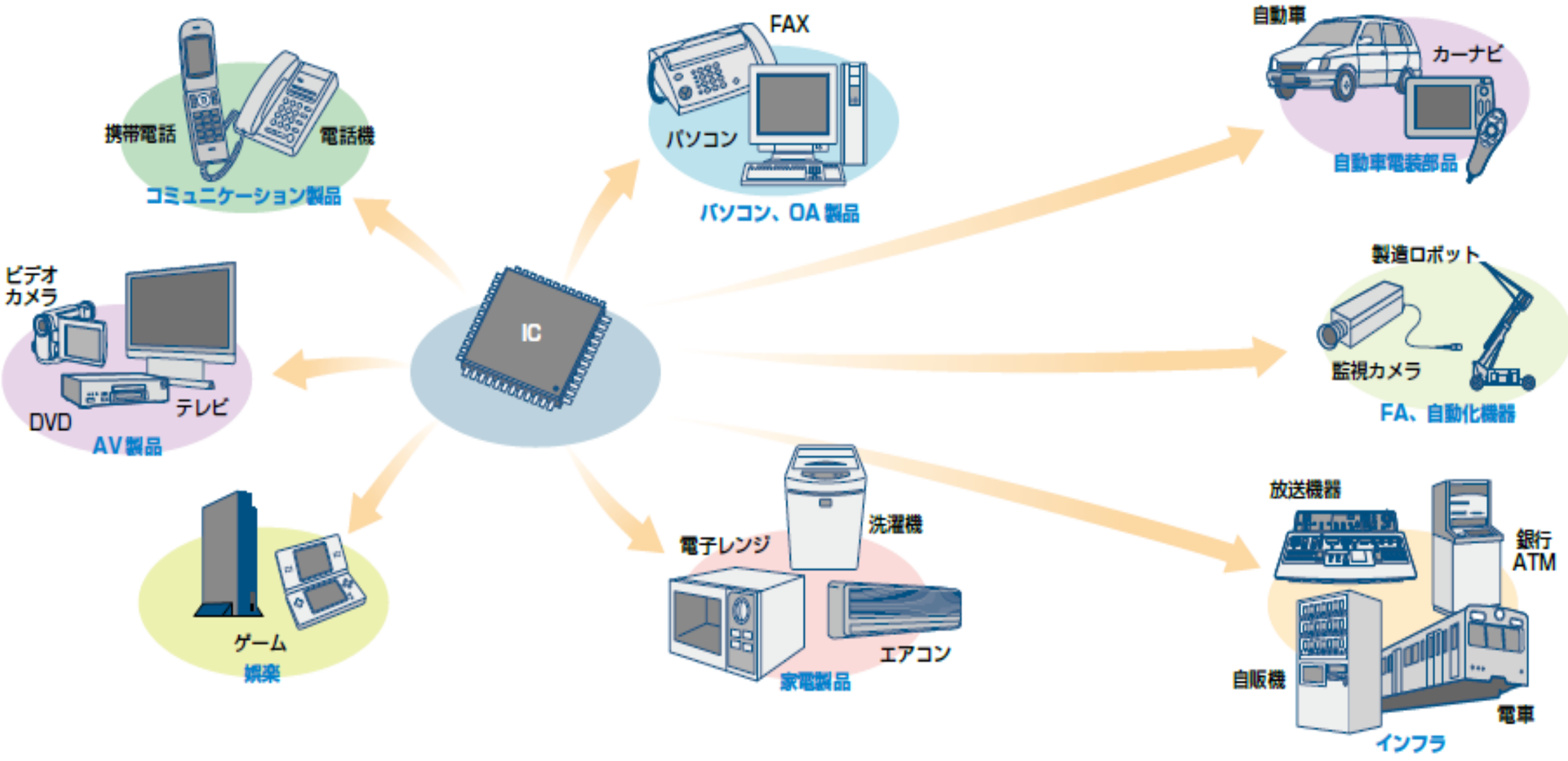
□そ の 他　　：Ｒ４年１１月、ＮＥＤＯの「ポスト５G情報通信システム基盤強化研究開発事業／先端半導体
製造技術の開発（委託）」（７００億円）に採択
Ｒ４年１２月、ＩＢＭ（米）と戦略的パートナーシップ締結

半導体とは

半導体とは、電気を良く通す金属などの「導体」と電気をほとんど通さないゴムなどの「絶縁体」との、中間の性質を持つシリコンなどの物質や材料のこと。

このような半導体を材料に用いた製品（トランジスタや集積回路（多数のトランジスタなどを作り込み配線接続した回路））も、一般的に『半導体』と呼ばれている。

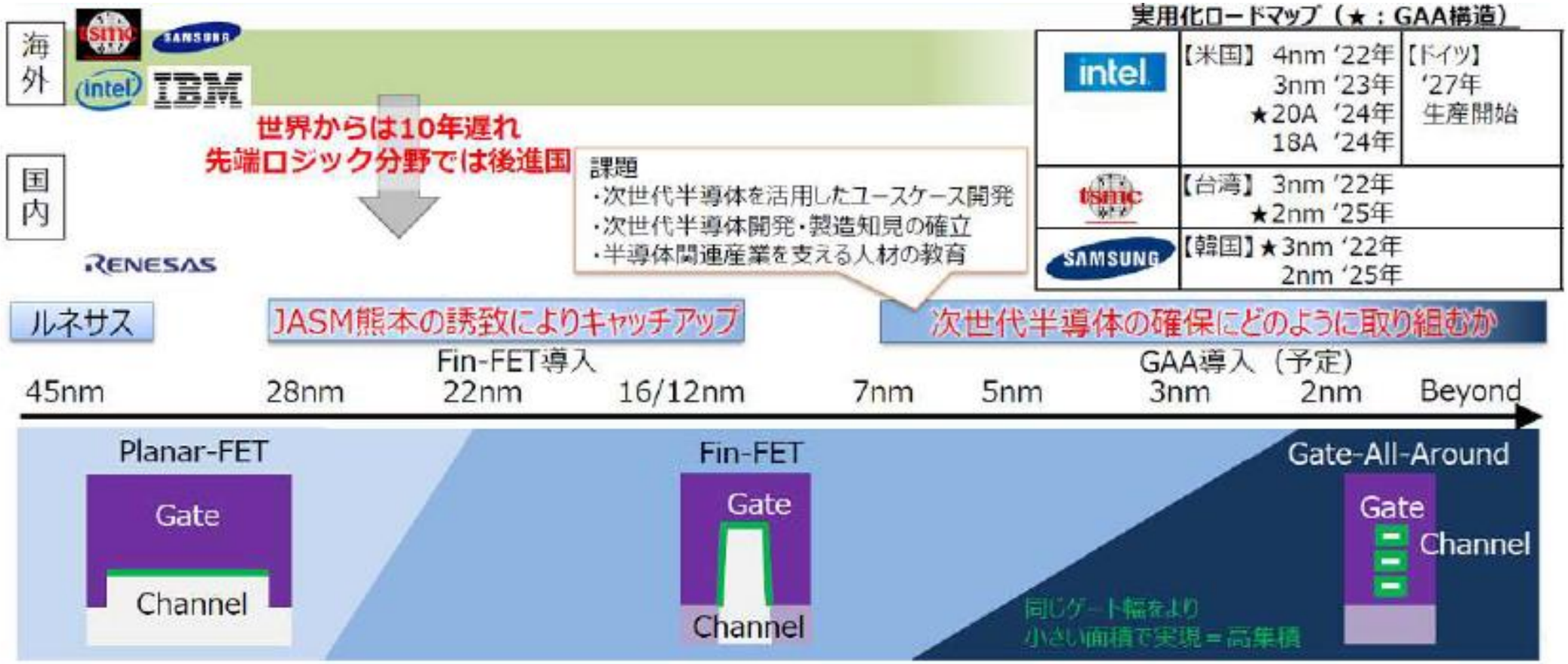
半導体は**情報の記憶、数値計算、論理演算などの知的な情報処理機能により、電子機器や装置の頭脳部分**として中心的役割をはたすもの。



出所：JEITA「よくわかる半導体」（ICガイドブック2009基礎編より）

次世代半導体とは

次世代半導体は、微細化等の技術により、情報処理能力がより一層高められた半導体であり、量子、AIなどさまざまな分野に大きなイノベーションをもたらす中核技術。



出所：経済産業省「半導体政策について　2023年3月」

世界の半導体市場の規模は、2020年の約50兆円から、2030年には約100兆円に成長すると見込まれている。

国では、経済安全保障の要でもある半導体に、官民の投資を集め、次世代半導体の技術開発・量産化を進めていくとしている。

Rapidus

ラピダス：ラテン語で「速い」の意味

２０２５年　試作ライン完成

２０２０年代後半　量産製造開始

道としては、ラピダス社の
製造・研究・人材育成等の複合拠点の
北海道での実現を支援